

株式会社網屋
2022年12月期
第2四半期
決算説明資料

A photograph of a modern office lobby. The walls are white with a dark, textured horizontal band. A sign with the word "AMIYA" is mounted on the wall. A reception desk is visible in the background, and a floor lamp stands in the foreground. The floor is dark with white geometric patterns.

AMIYA

01 第2四半期決算の概要



FY2022

第2四半期 エグゼクティブサマリ

業績

- 売上：前年同期比+8.5%、売上総利益：前年同期比+10.5%と順調
- 営業利益：新事業の研究開発費や広告宣伝費により、前年同期比減（販管費4400万円増）

トピックス

- 新事業**（サイバー攻撃を検知代行する定額セキュリティサービス）を6月からリリース開始（3Qから本格受注開始。2Qは露出販促投資で販管費増）
- 最大**3億円**の**自己株式取得**を本日リリース
発行済株式総数（自己株式を除く）の4.84%

FY2022

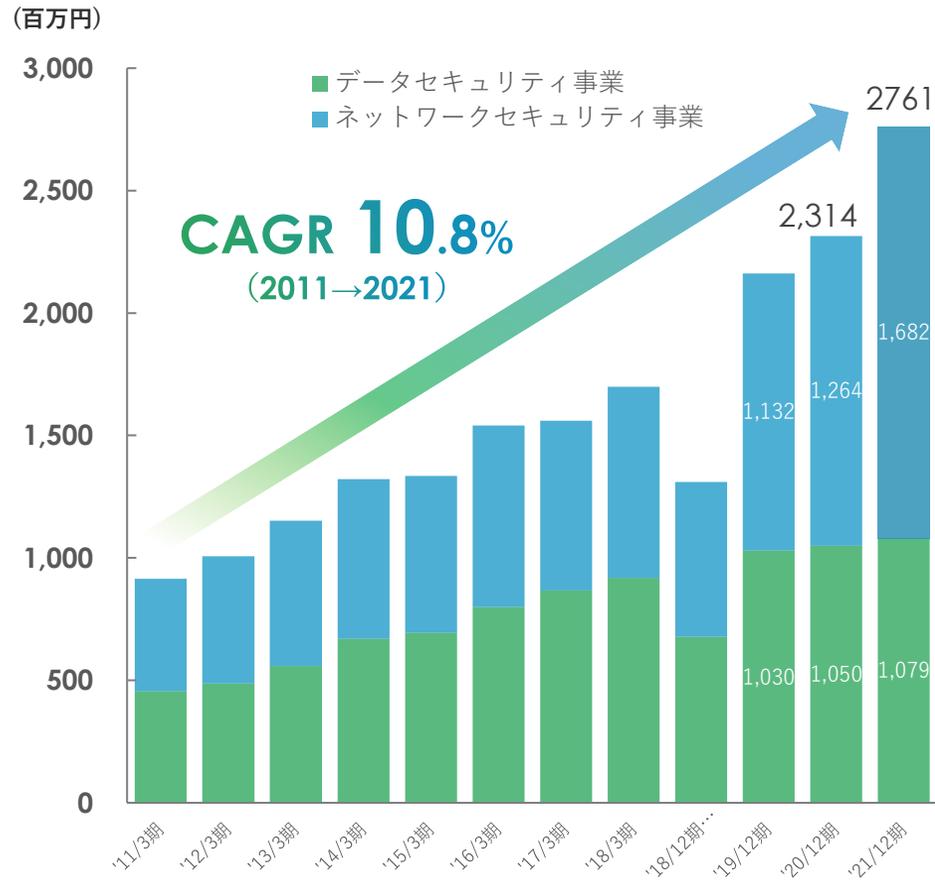
第2四半期 前年同期比サマリ

- ・ **営業利益**は、円安による原材料費高騰と高利益案件の期ズレにより**未達**。
- ・ **最終利益**は、為替評価益等により**超過**。

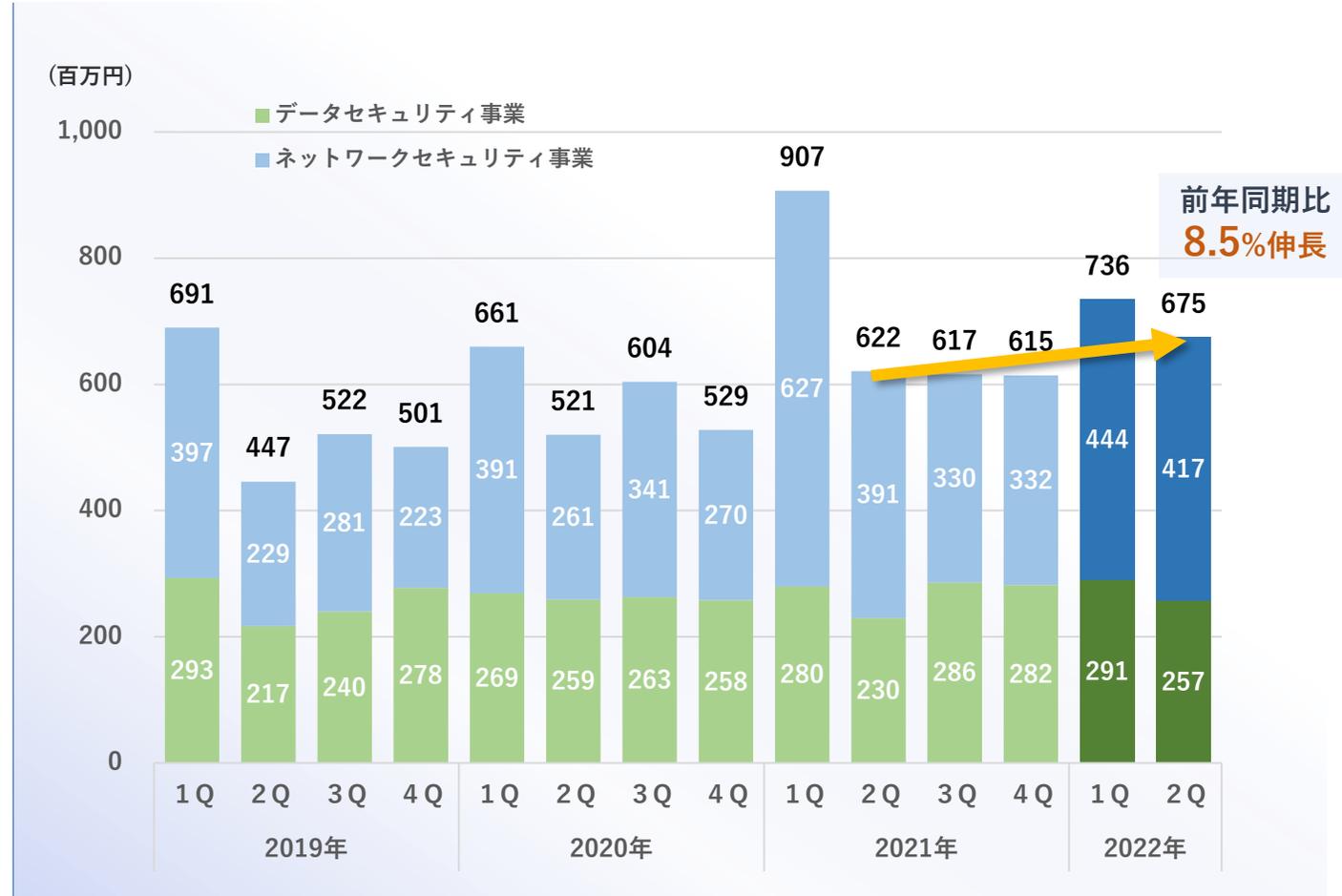
(百万円)	FY2021 2Q	FY2022 2Q	増減率
売上高	621	674	+ 8.5%
データセキュリティ事業 (DS)	230	257	+ 11.7%
ネットワークセキュリティ事業 (NS)	391	417	+ 6.6%
売上総利益	309	341	+ 10.5%
営業利益	16	4	- 73.0%
経常利益	17	22	+ 25.5%
当期純利益	11	15	+ 42.0%

FY2022 売上高 四半期推移

売上高/年

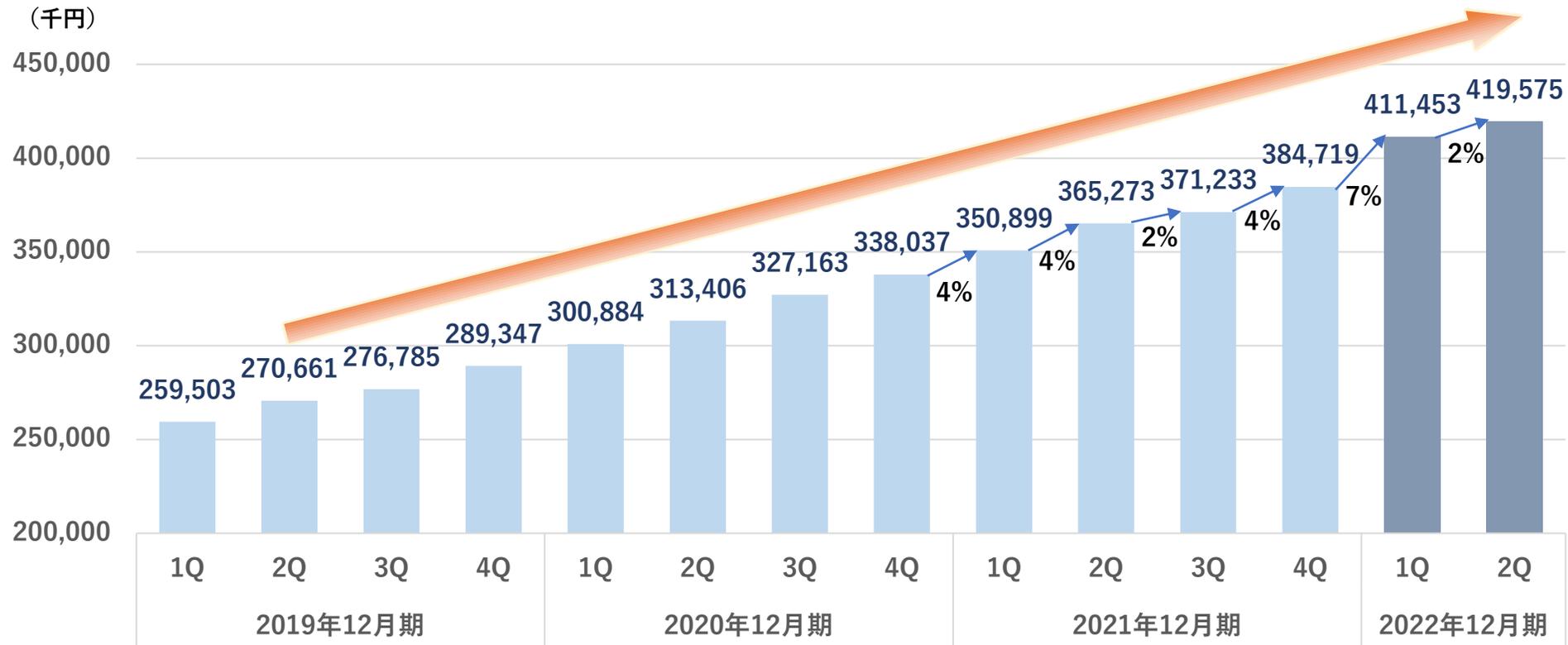


売上高/四半期



FY2022

ストック(リカーリング)売上高 四半期推移

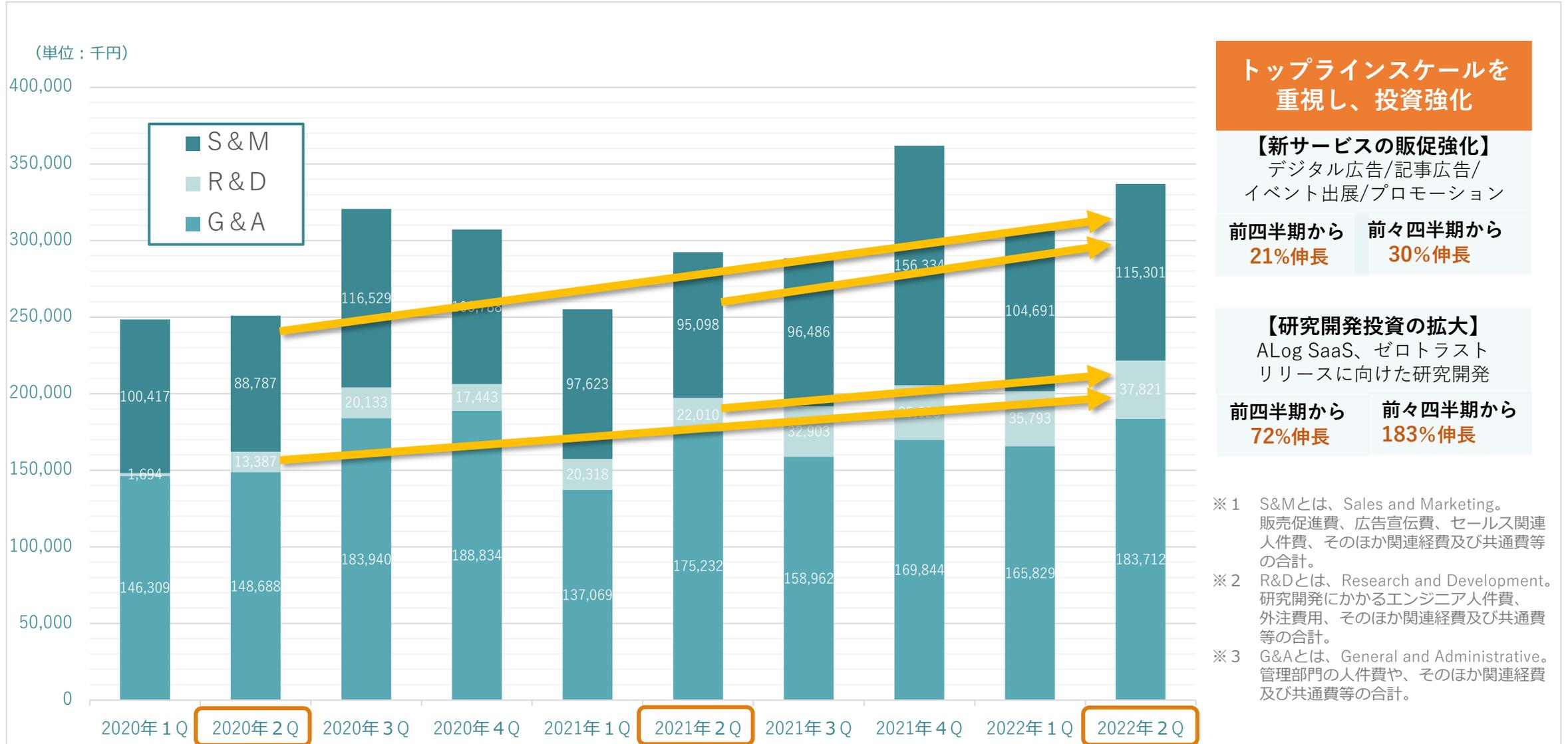


前四半期から
15%伸長

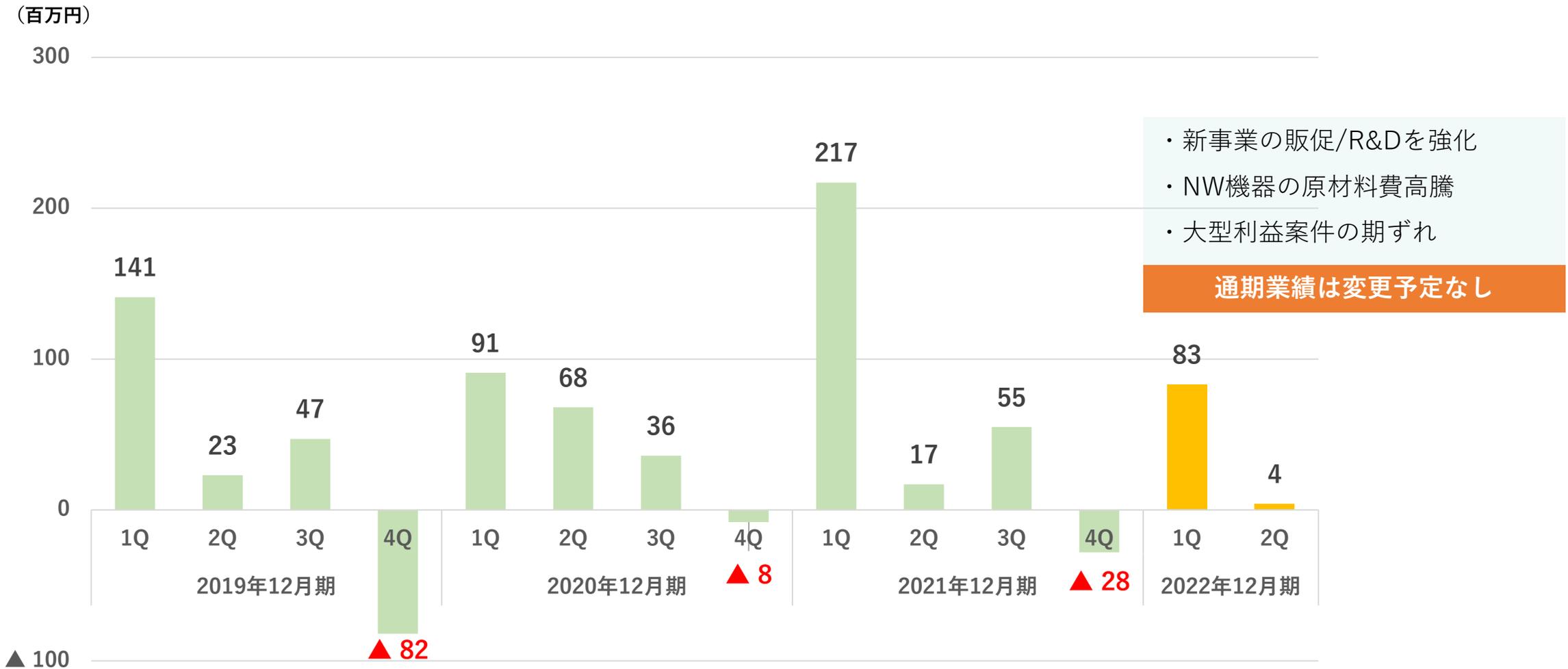
過去3年で
55%伸長

2022年12月期は
契約伸長と
解約率低下が傾向

FY2022 販売費及び一般管理費 四半期推移



FY2022 営業利益 四半期推移



FY2022

第2四半期 セグメントサマリー

データ
セキュリティ
事業

●前年同期比で増収増益。セキュリティへの関心拡大により、案件増加傾向。

セグメント売上高： 257百万円 前年同期比 11.7%増

セグメント利益： 131百万円 前年同期比 11.4%増

ネットワーク
セキュリティ
事業

●前年同期比で増収増益。粗利益率改善が課題。

セグメント売上高： 417百万円 前年同期比 6.6%増

セグメント利益： 56百万円 前年同期比 1.5%増

FY2022 DS事業 売上高四半期推移

データセキュリティ事業

(百万円)
400

■ ストック売上高 ■ スポット売上高



前四半期から
12%伸長

過去3年で
18%伸長

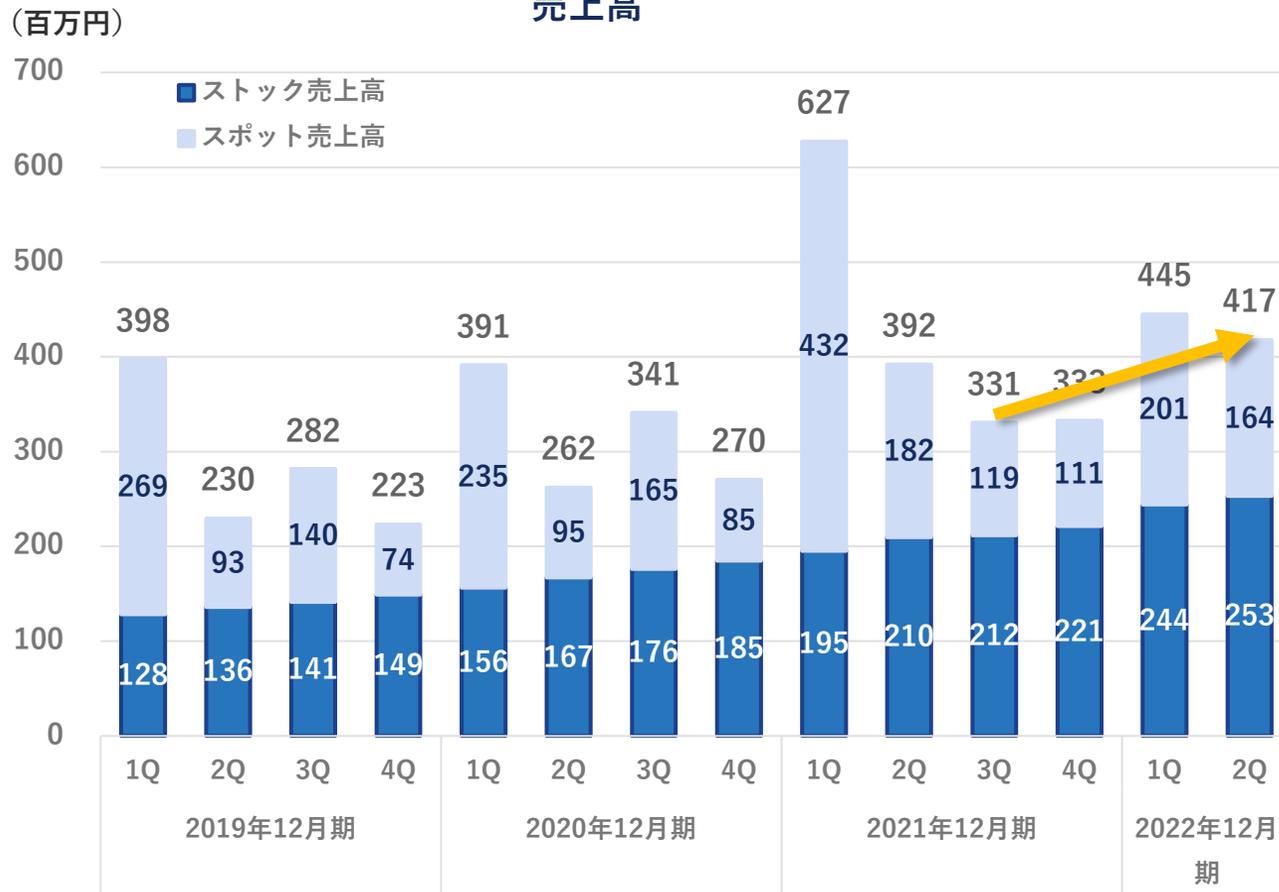
粗利益率80%超の商品販売に加えて、セキュリティのサブスクサービスを開始。

セキュリティサービス
『セキュサポ』
商談中：86社

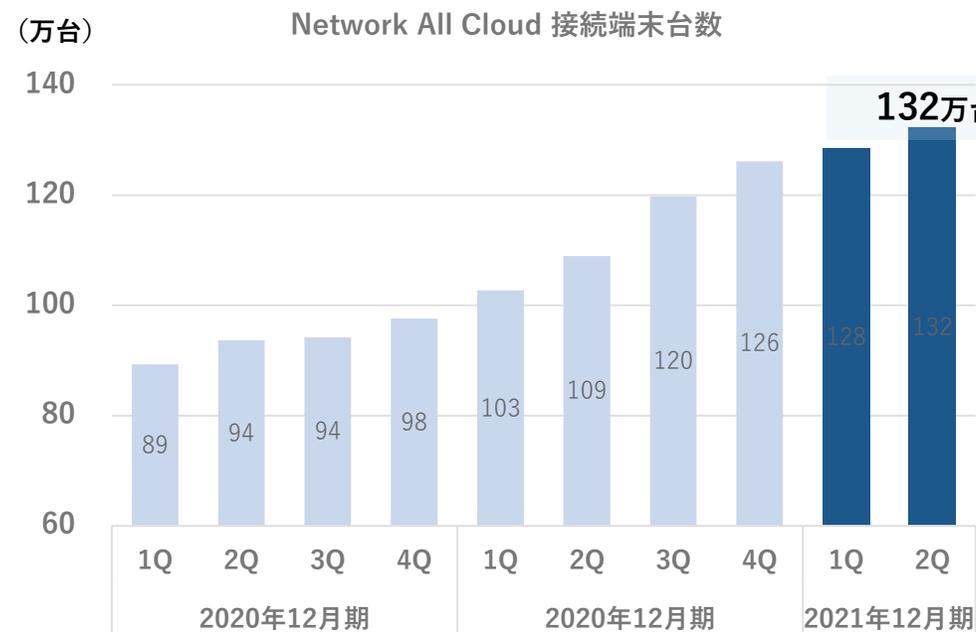
FY2022 NS事業 売上高四半期推移

ネットワークセキュリティ事業

売上高



末端接続クライアント
130万台突破



前四半期の比較で売上は**26%伸長**。出荷も堅調。

FY2022

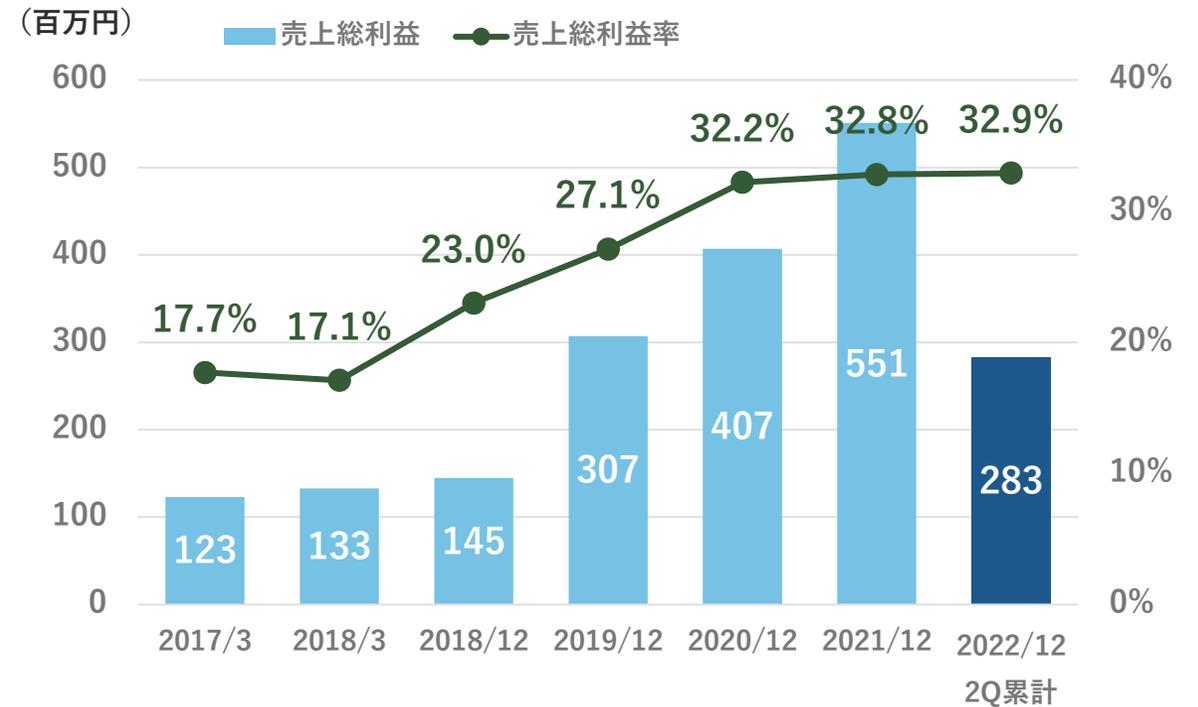
セクター別 売上総利益（1-2Q累計）

データセキュリティ事業



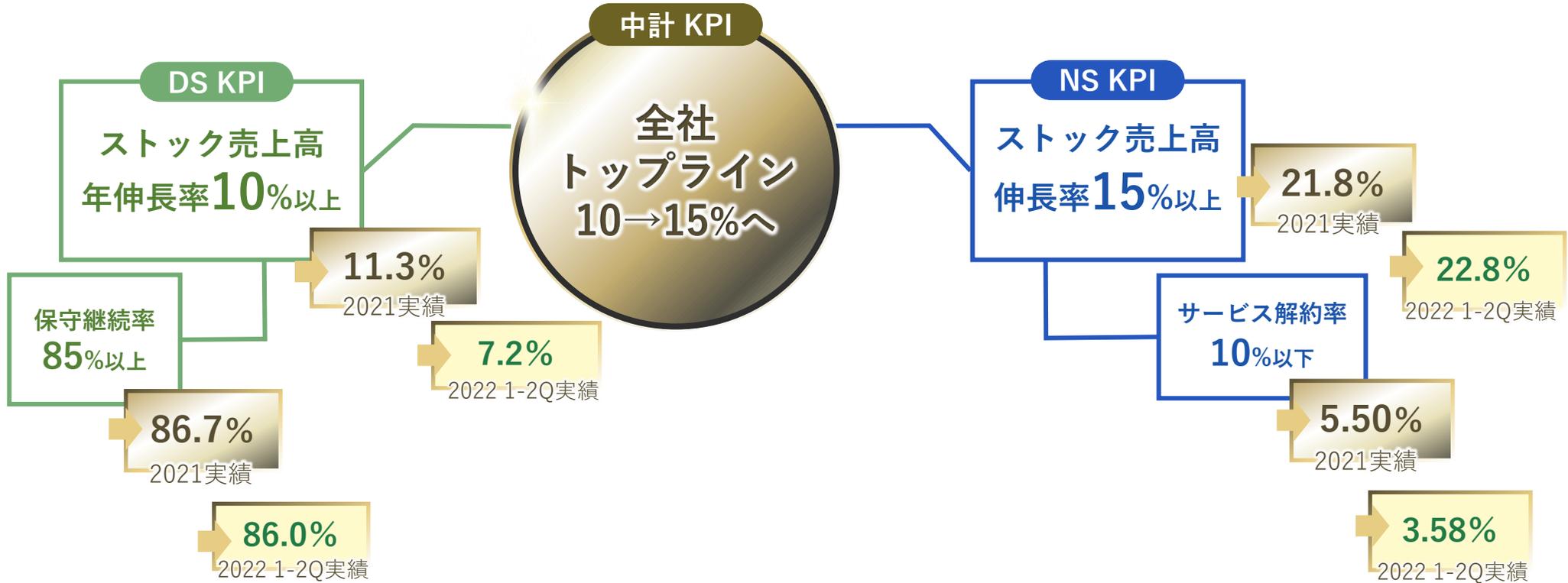
新事業の人員増強により売総率は低下したが、計画値80.8%に対して実績81.6%と想定内

ネットワークセキュリティ事業



円安による原材料費高騰と高利益案件の期ズレが影響し、計画値36%まで至らず

FY2022 KPI 進捗 1-2Q実績



ストック売上伸長率は前期実績に比べ、低下しているものの、サブスクサービスの「セキュサポ」販売強化で伸長率を改善予定

伸長率は順調。3Q以降で原材料費高騰に対処し、粗利益率を改善予定

貸借対照表

現金及び預金は18.3億円、自己資本比率は51.8%と安定した財務基盤

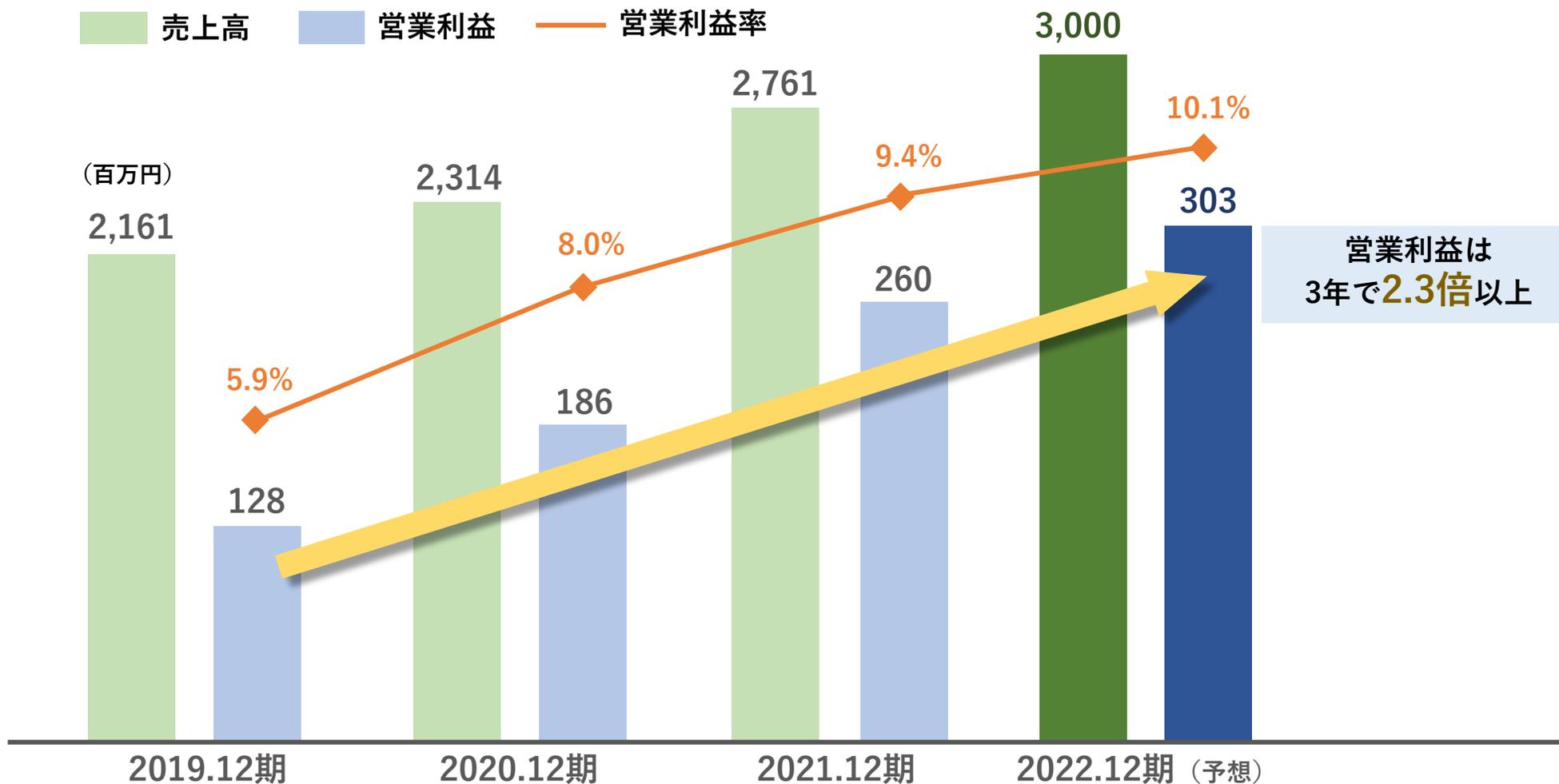
(百万円)	2021年 12月末	2022年 6月末	増減
流動資産	2,469	2,576	+106
うち 現金及び預金	1,893	1,839	-54
固定資産	380	378	-1
総資産	2,849	2,954	+105
流動負債	1,190	1,235	+45
うち 前受金	824	—	—
うち 契約負債	—	892	—
固定負債	223	190	-33
純資産	1,435	1,529	+93
負債及び純資産	2,849	2,954	+105
自己資本比率 (%)	50.4%	51.8%	—

02 業績予想の進捗



2019年12月期より**3年連続**の増収増益・**最高益**

2022年12月期も増収増益、**最高益**を目指す



FY2022

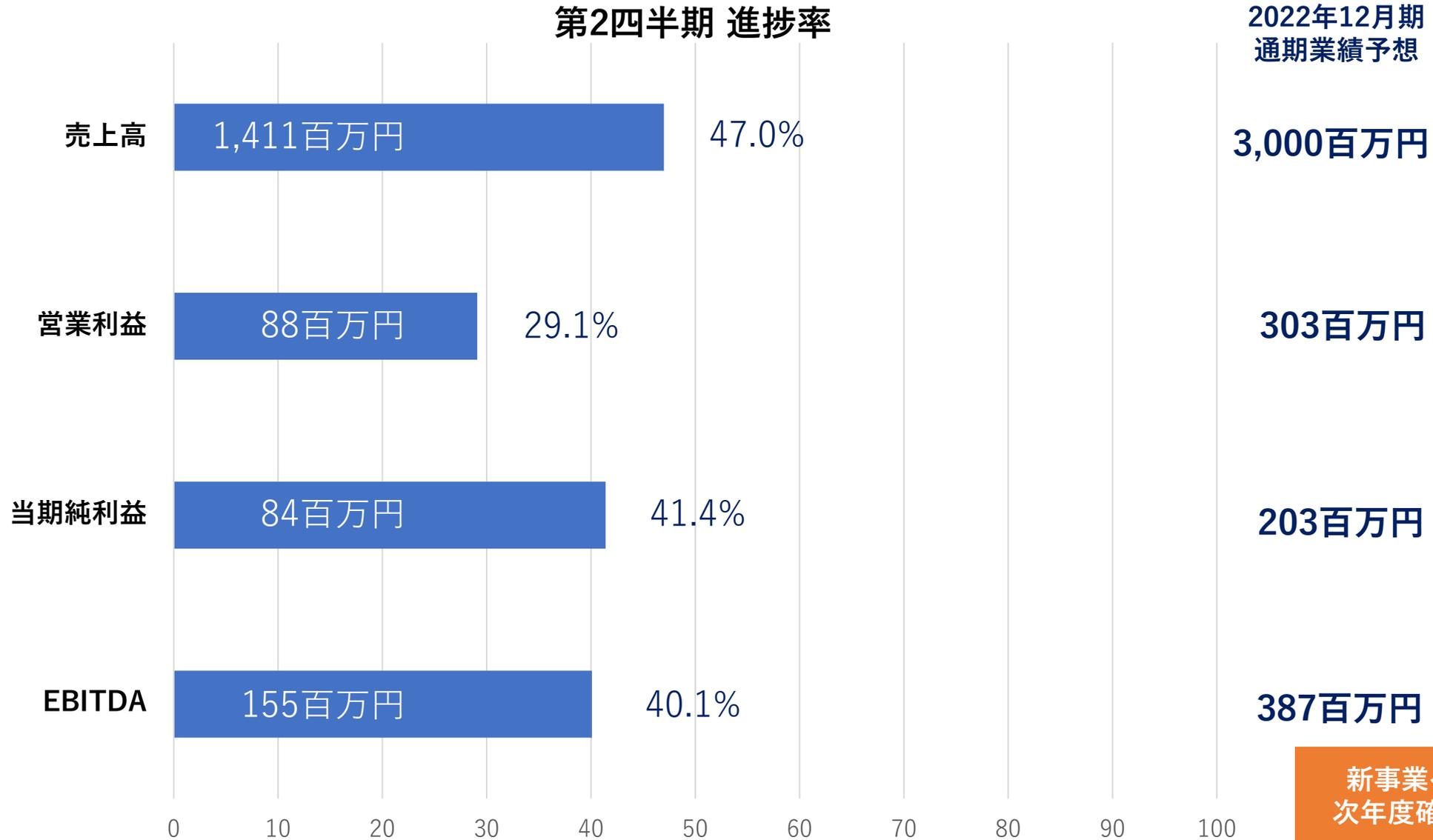
業績予想と第2四半期（累計）実績

- ・ 営業利益の不足は、第3四半期以降で回復予定。
- ・ 最終利益は、為替評価益等によりほぼ予定通り。

FY2022 1月～6月（上期）

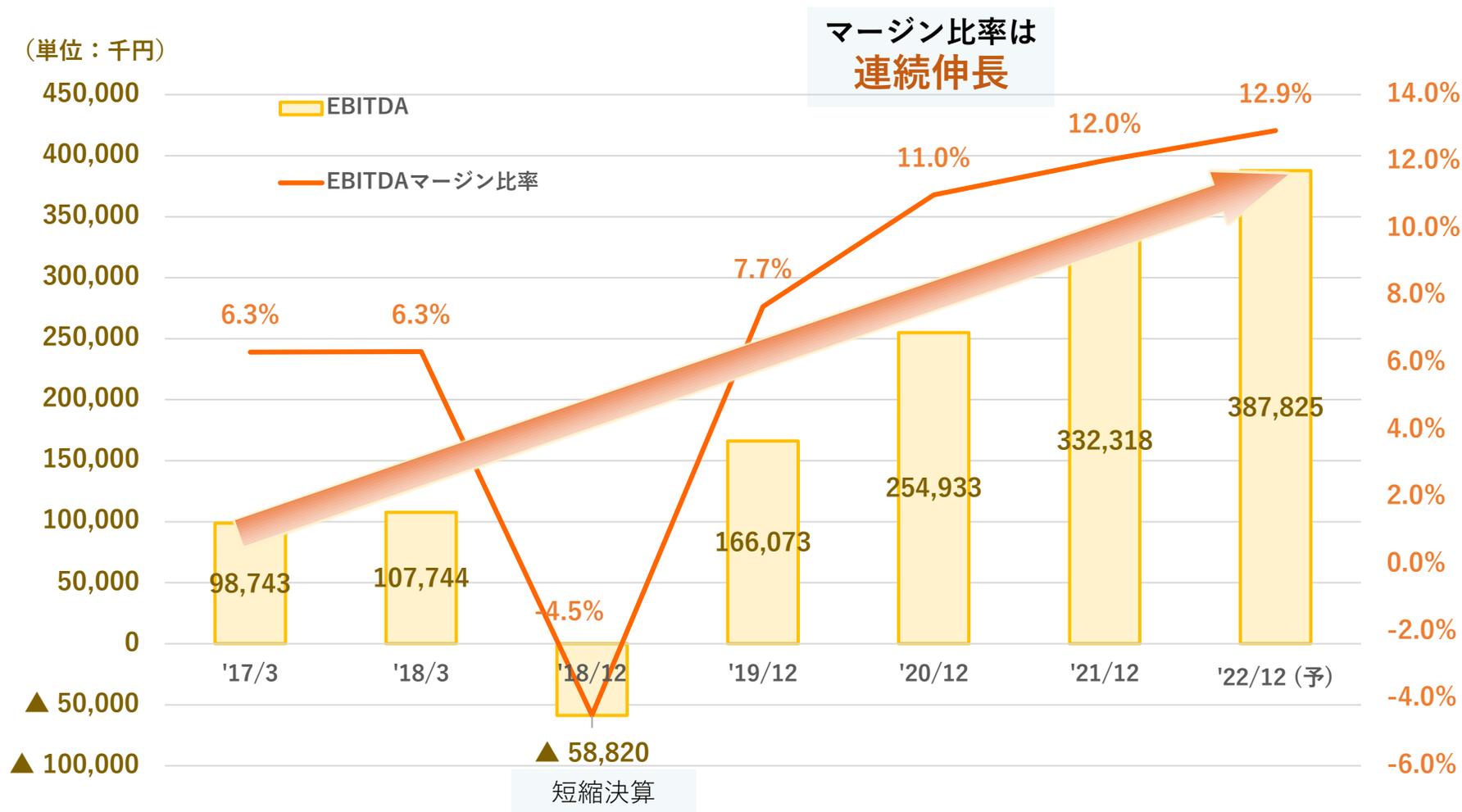
（百万円）	予想	実績	進捗率
売上高	1,489	1,411	94.7%
データセキュリティ事業（DS）	-	-	-
ネットワークセキュリティ事業（NS）	-	-	-
営業利益	130	88	67.6%
経常利益	136	117	86.0%
当期純利益	89	84	94.2%

FY2022 通期業績予想の進捗



新事業への積極投資で、
次年度確定収益率を高める

FY2022 EBITDA 年間推移



03 事業の概況



情報を狙った犯罪

企業/組織のセキュリティ対策は、

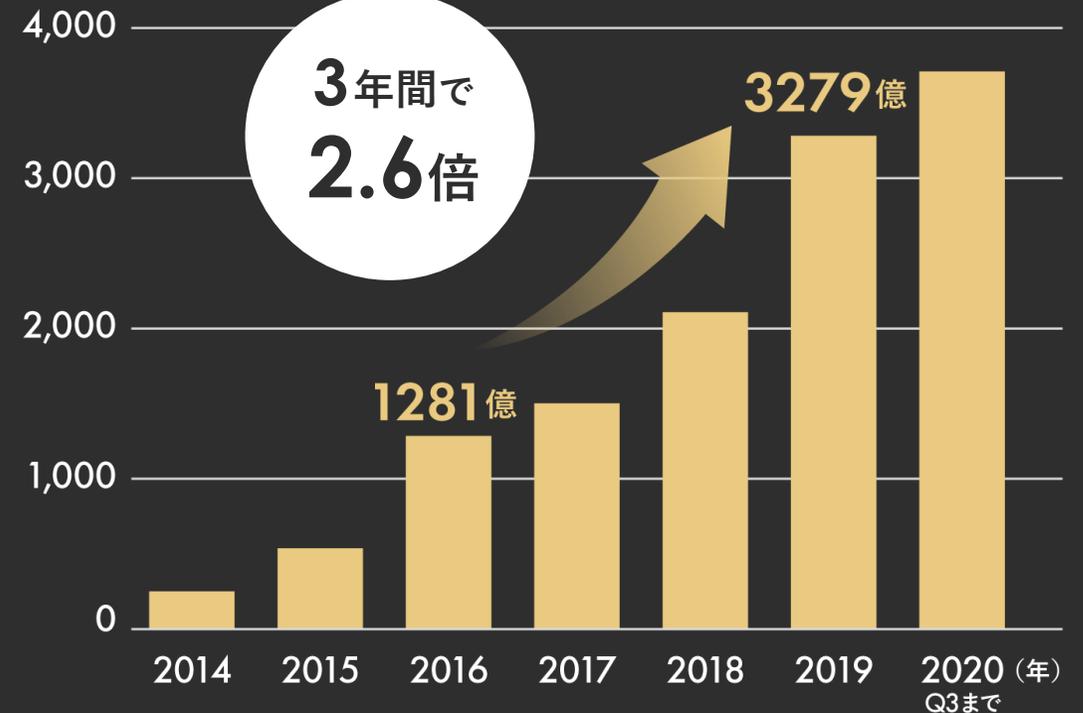
「事業継続」 「安全保障」の観点で普遍のニーズ



サイバー空間には
”安全”が大前提

(単位：億パケット)

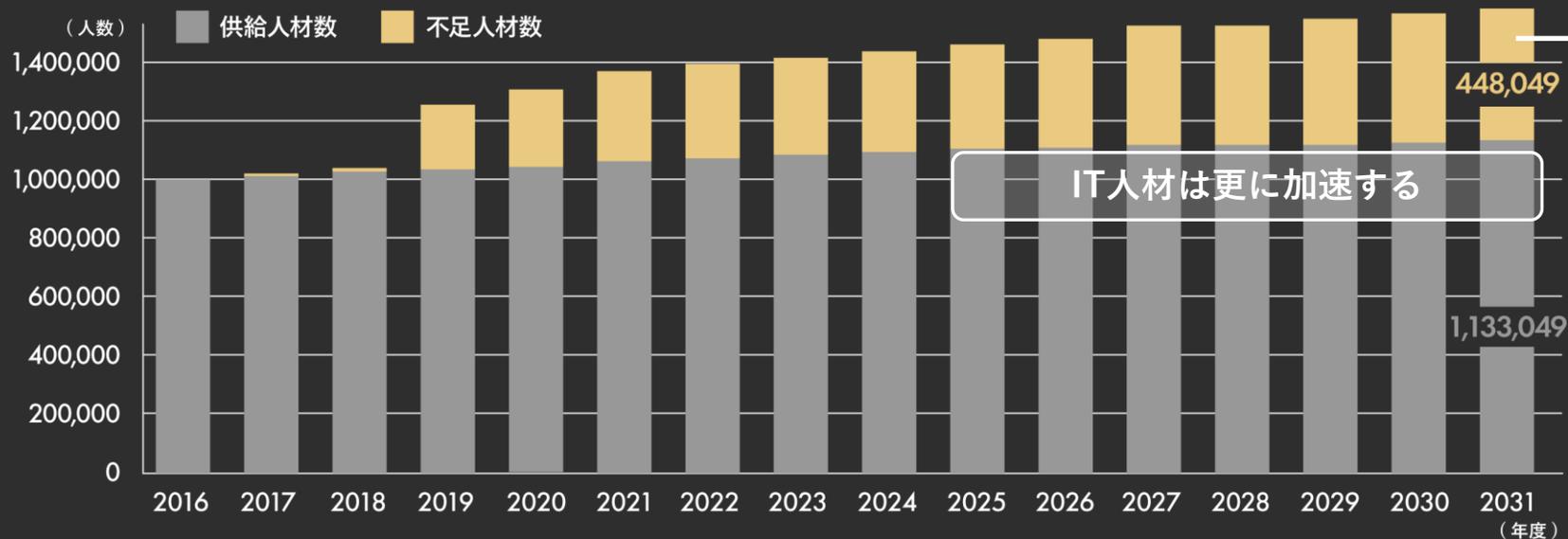
NICT-情報通信研究機構



サイバー攻撃は増加の一途

社会背景

出所：経済産業省 情報技術促進課 「IT人材受給に関する調査（概要）」



IT人材は更に加速する

約45万人
不足

しかし人材はいない

慢性的なIT人材不足が、
人に依存しないシステムを招く ▶▶▶



“人”には頼れない時代に

当社の提供価値

AIで人が介在しない
データセキュリティ

クラウドで人が介在しない
ネットワークセキュリティ



自動化によるコモディティ化で

誰もが安全を
享受できる社会



クラウド

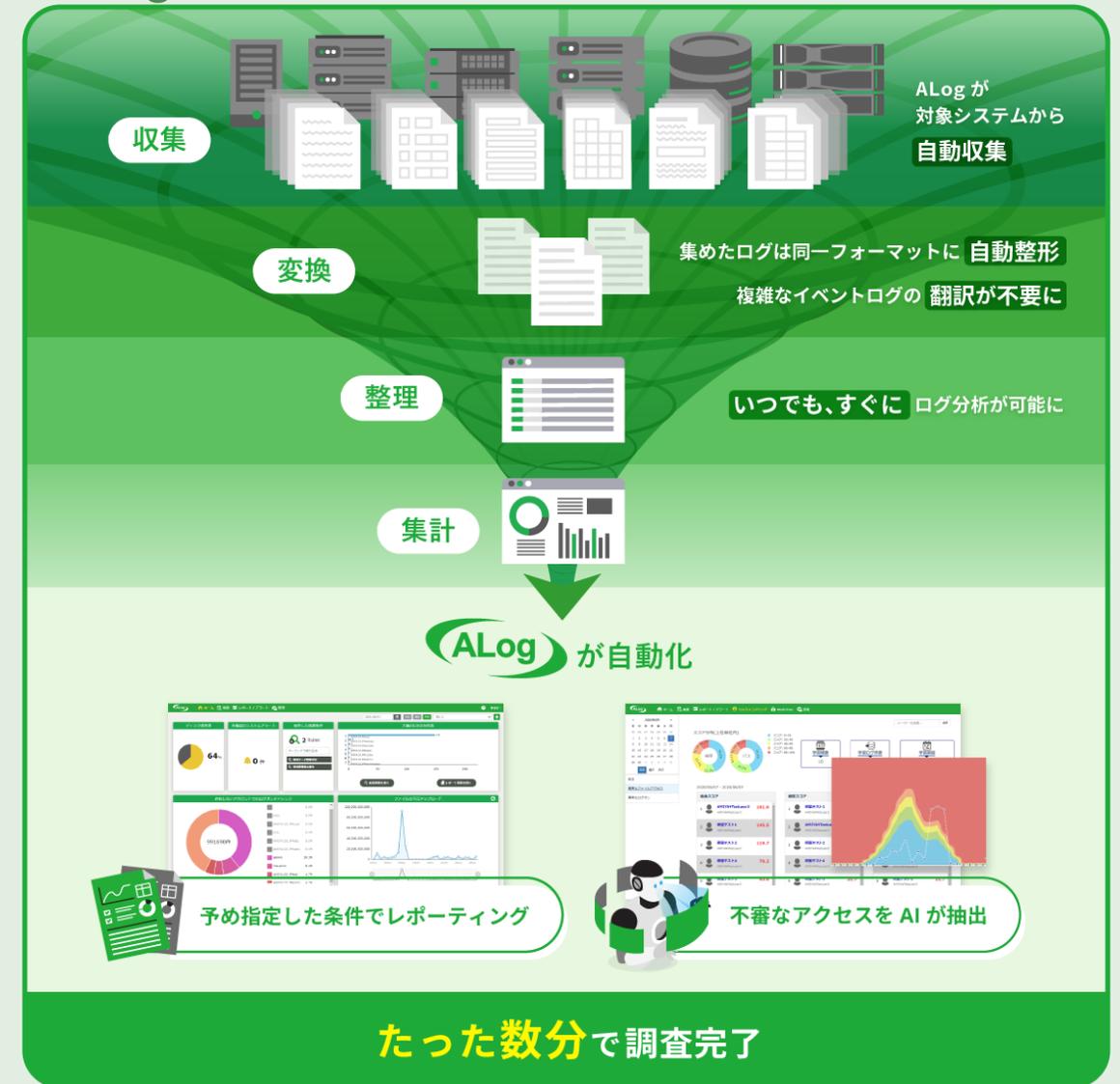
データセキュリティ事業

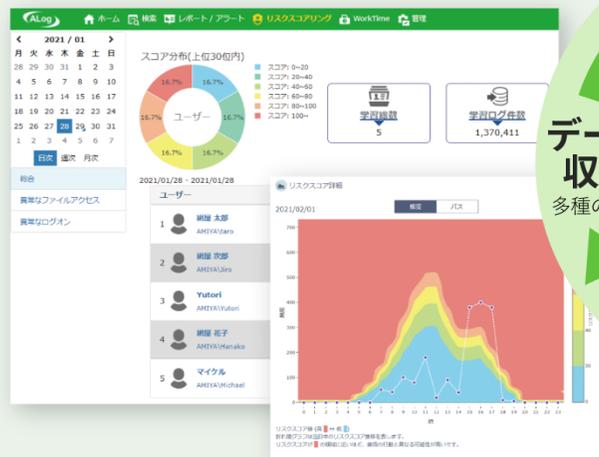


データのセキュリティ



ALog 導入後





異なるふるまいをAIが自動判定。
セキュリティを人の手を介さずに運用できる

いつもと違う時間のアクセス
佐藤さんのデータアクセス

9月	1	2	3	4	5	09:00~18:30	
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
				28	29	30	

いつもと違うフォルダへのアクセス
鈴木さんのフォルダアクセス

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12/月
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	------

- 開発設計用フォルダ
- 営業用フォルダ
- 企画用フォルダ

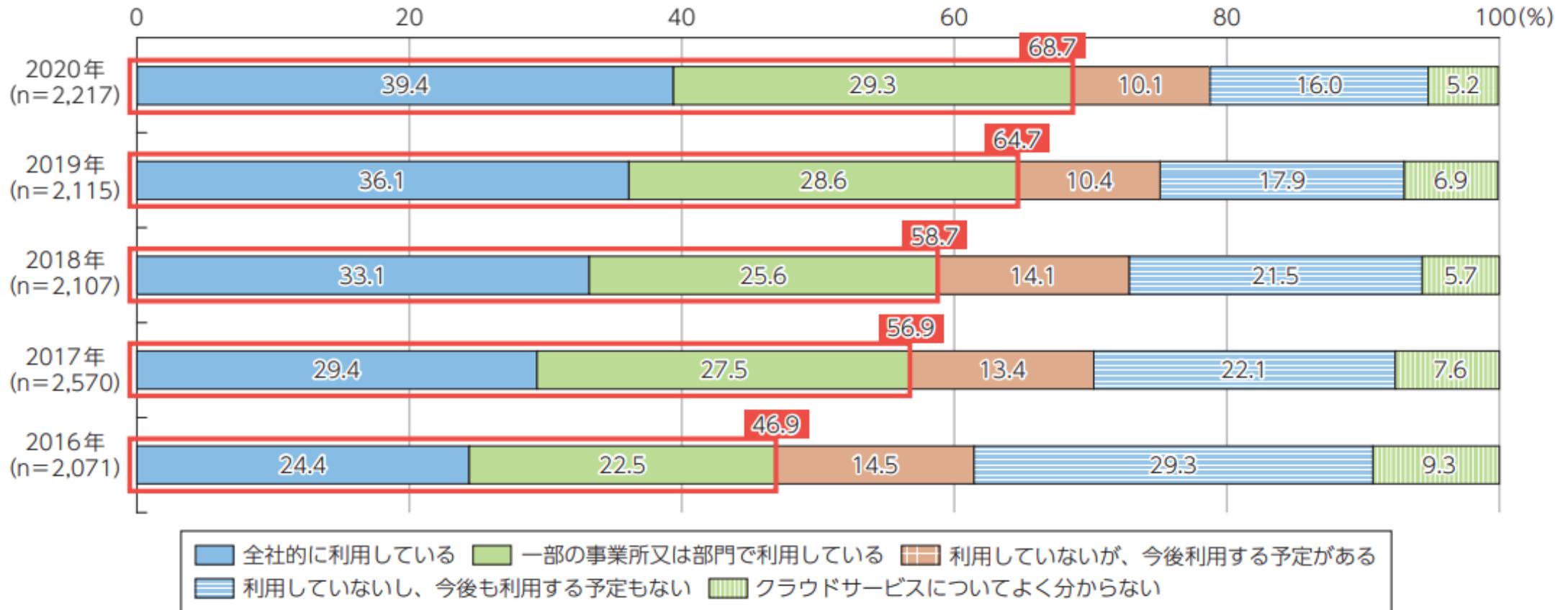
ランサムウェアがおこすファイル全変換
石田さんだけが大量のファイルを書き換えている

普段との違いで
見つかる **内部不正**

普段との違いで
見つかる **外部攻撃**

クラウドサービスの利用が増加

クラウドサービスの利用状況は年々増加。
効率的にクラウドサービスのログを収集するため、ログ管理システムもクラウド化。

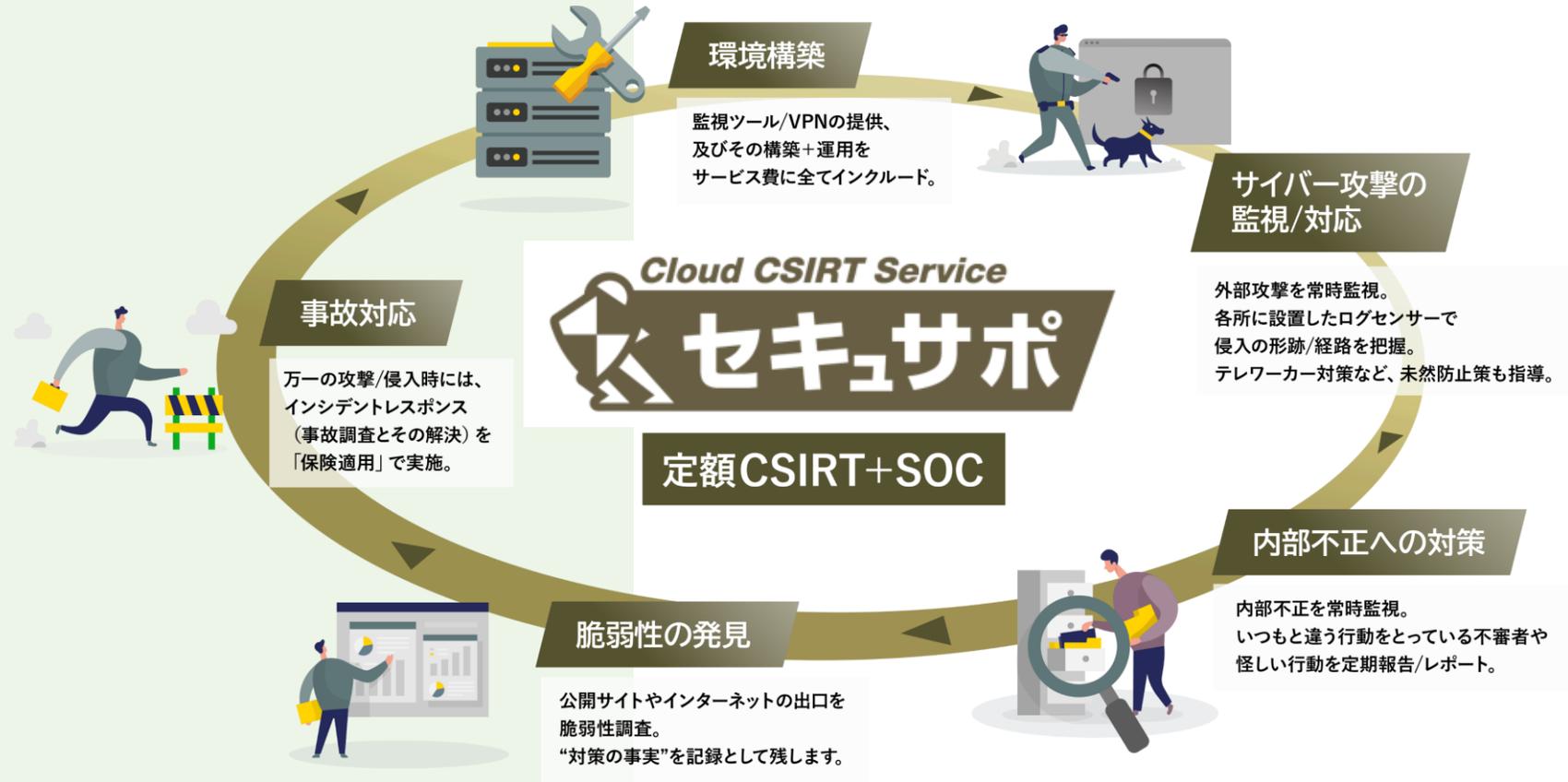


FY2022 DS 新規事業

定額CSIRT

サイバー攻撃に悩む
病院や自動車サプライヤなど
中小企業を対象に
『定額セキュリティサービス』
を安価にサブスク提供

2022年4月販売開始



ALogSaaS

顧客視点のメリット

- ◎ サーバレス
- ◎ インストールレス
- ◎ スモールスタート可
- ◎ スケールアウト可
- ◎ UI・UX向上
- ◎ 高速検索

2023年2月リリース
(予定)



ネットワークセキュリティ事業

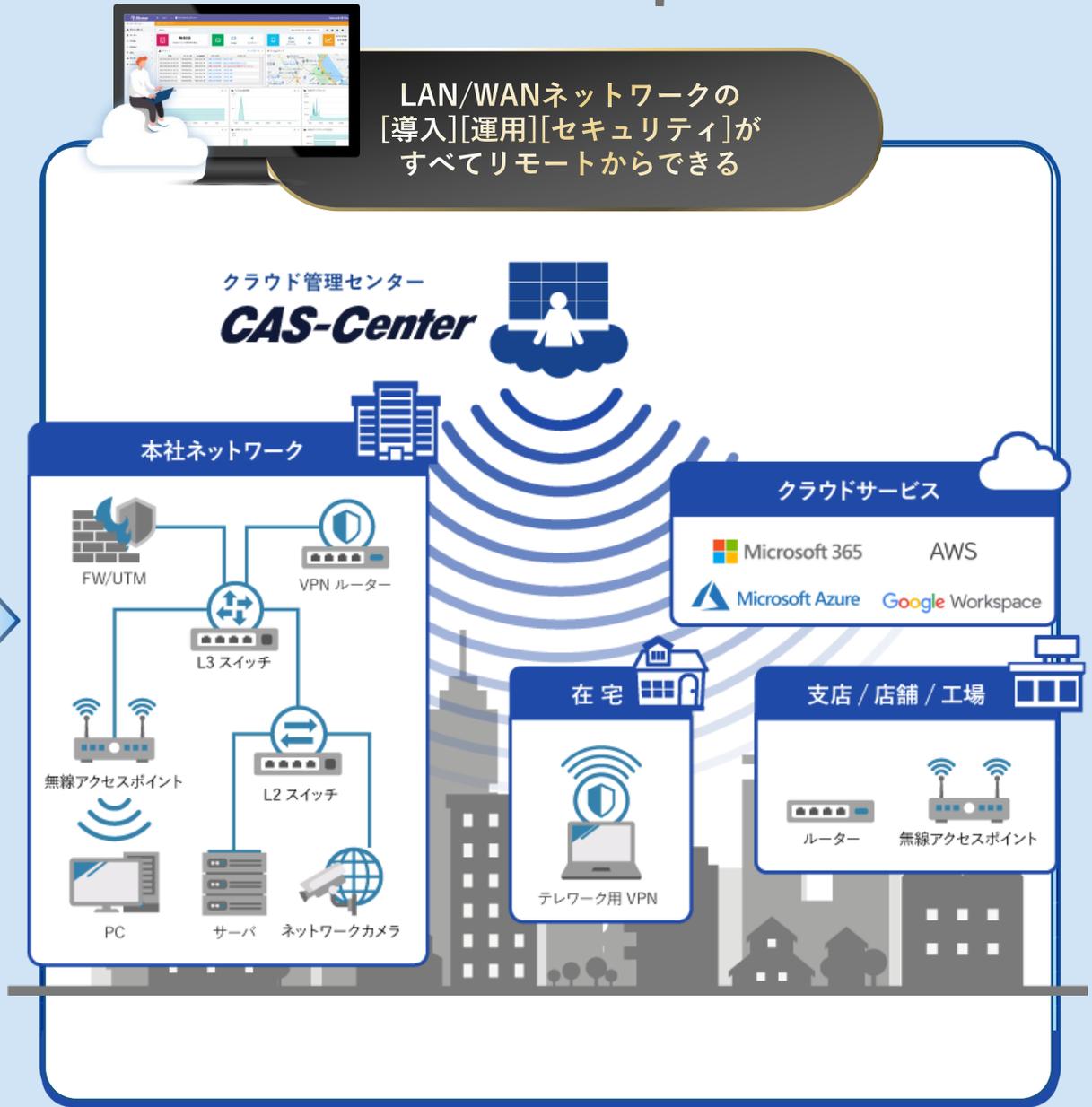


個別管理による無駄な工数
機器ごとに設定、ファーム更新、ログ確認 etc...
何かと時間がかかる...

遠方拠点への無駄な移動コスト
遠方にエンジニアを行かせると
コストがかかり過ぎる...

セキュリティが心配
サイバー攻撃増えてるけど、大丈夫かな...

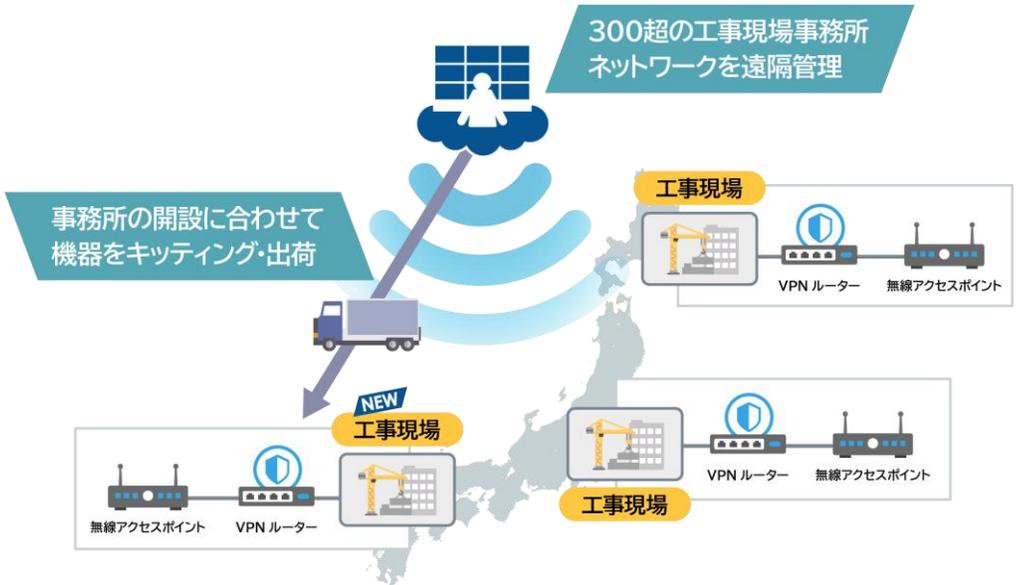
ITシステムの増大による人材不足
DX 推進
IT 運用
セキュリティ対策
DX 推進、IT 運用、セキュリティ対策 etc...
人が足りない...



熊谷組 様
売上4000億円を
超える北陸発祥の
大手ゼネコン



300を超える工事事務所のIT環境に



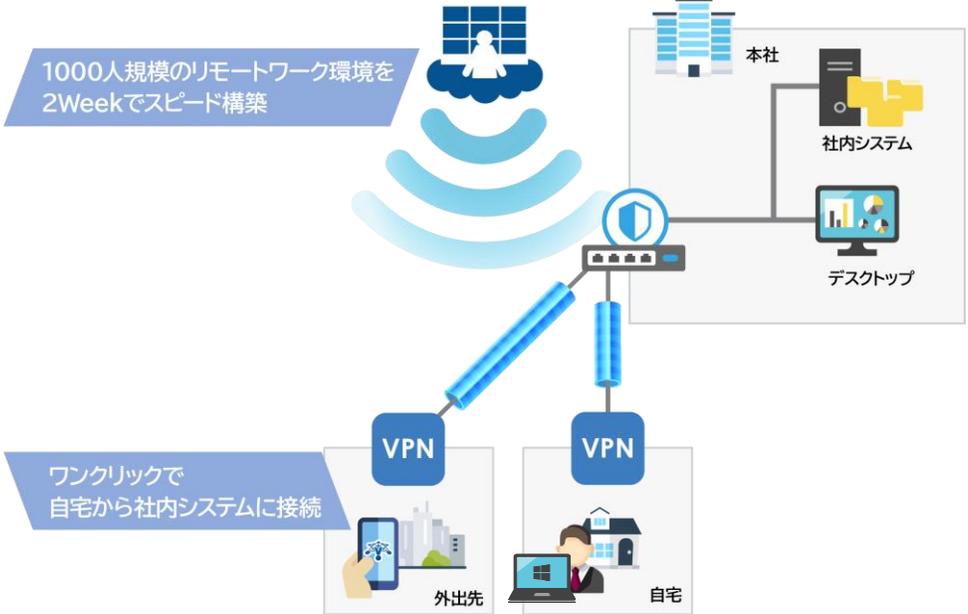
設計不要で”安全インフラ”を享受

ホーチキ 様
社員2000名を超える
火災報知器/消火設備の
大手メーカー



人命と財産を
火災から守り続けて
100年。
HOCHIKI

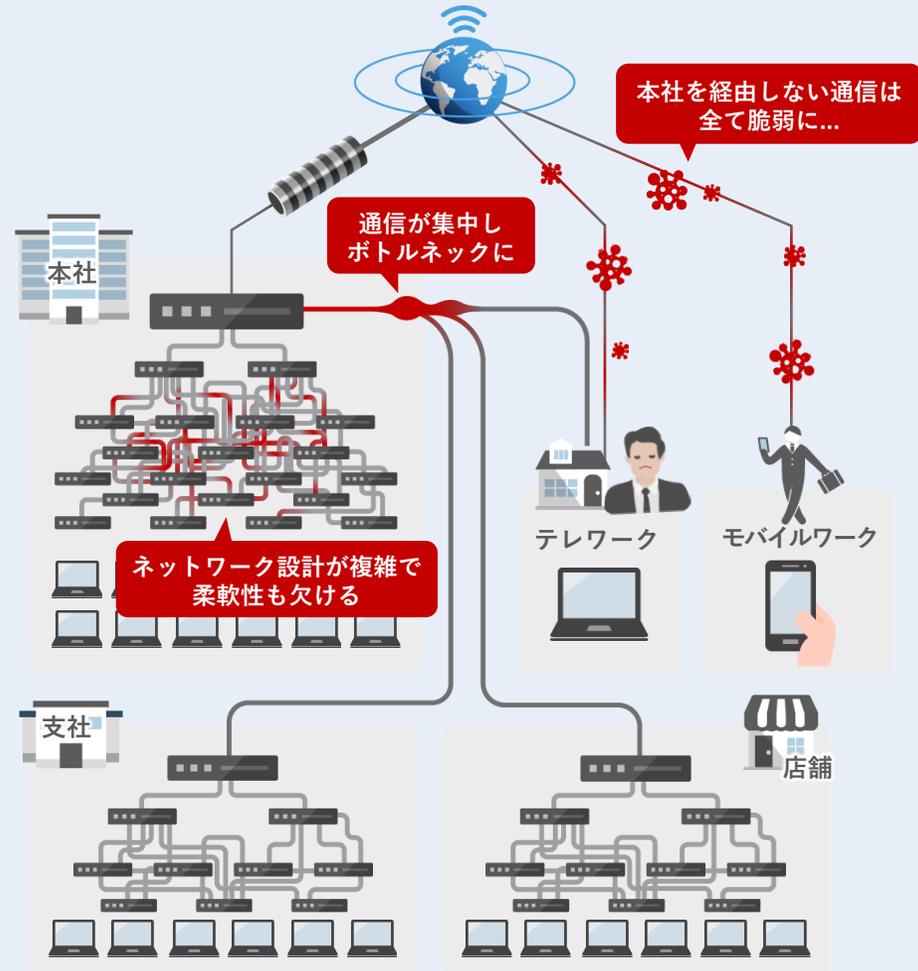
社員1,300名のテレワーク通信を整備



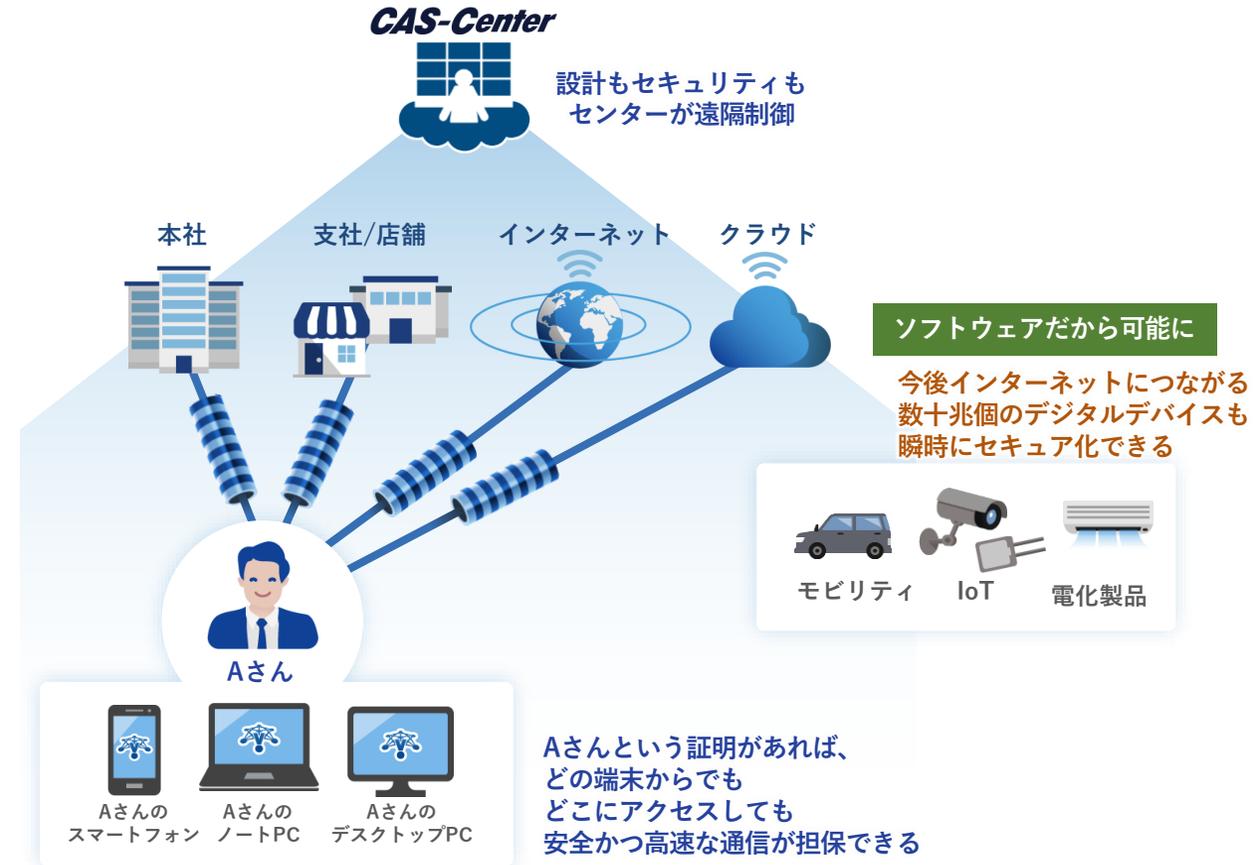
即座に”暗号通信”を構築

ゼロトラスト

従来



AMIYAのゼロトラスト



2022年下期リリース（予定）

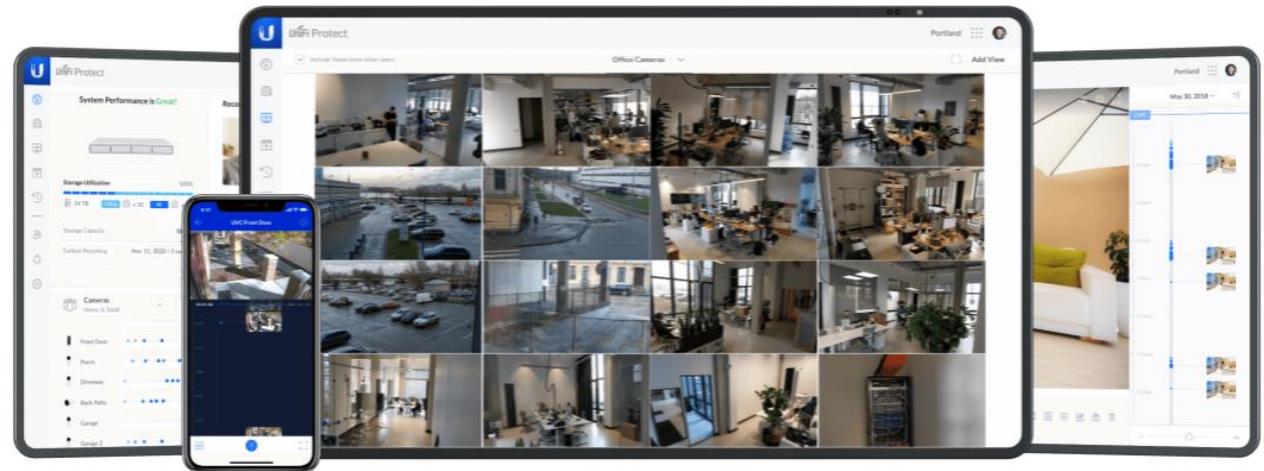
FY2022 NS 新規事業

クラウドカメラ

クラウドネットワークのサービスに
監視カメラ事業を追加。
法人向け高精度AIカメラを
拠点の多い既存顧客に供給。

2022年6月販売開始

クラウドカメラ市場は、
136億円（2020年度実績）から
630億円（2026年度予測）に成長





SECURE THE SUCCESS.

AMIYA